

# 流域にいる魚たちを大切にしよう

Kikuchi River



**ニッポンバラタナゴ(コイ科)** 体長約5cm  
暗い緑色のたて帯がある、美しい魚。繁殖期になると、オスは赤みを帯びた体色になる。ピンタ、シビンタとも呼ばれる。



**コイ(コイ科)** 体長約60cm  
時には1m以上もの大物も。雑食性で、特に底面の泥の中の生物を好んで食べる。



堰



禁猲区

有明海



**モクズガニ(サワガニ科)** 体長約40cm

親ガニは河口近くで産卵。ふ化した幼生はさらに下流に流れ、海で育ち、稚ガニになると、中流域まで川を上りながら成長する。菊池川流域では、「山太郎」とも呼ばれる。



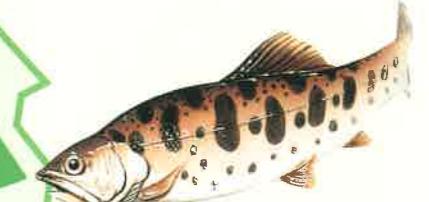
**アユ(アユ科)** 体長約18~30cm  
川魚の女王。水のきれいな川にしか棲まず、成長すると、岩につくケイソウ類を食べるため、風味、香りがよく、香魚ともいわれる。



**ギンブナ(フナ科)** 体長約25cm  
コイに似た魚だが、ヒゲがないのが特徴。冬は水底に静止し、春になって活動を始める。



**オヤニラミ(スズキ科)** 体長約13cm  
スズキ科で唯一淡水にすむ魚。赤い目から、黒いすじが出ていて、体に青い斑点がある。条件によっては、絶滅の危惧が考えられる貴重な魚。



**ヤマメ(サケ科)** 体長約20cm  
川の上流、水温20℃以下のところにすむ。体にパールマークと呼ばれる楕円形の模様があり、背びれと尾びれの間にアブラびれがあるのが特長。大変すばしっこく、用心深い。



**オイカワ(コイ科)** 体長約15cm  
ハエ、シラハエなどと呼ばれ、ハエ釣りでおなじみの魚。体に赤みを帯びた模様がある。浅く開けた場所の平瀬から淵、砂底などにいる。



**カマツカ(コイ科)** 体長約25cm  
川の砂底にすみ、よく砂中にもぐる。水底の昆虫類を主食とする。

## 菊池川水系

菊池川	— 71,200m
（主に支流）	
岩野川	— 24,400m
合志川	— 21,950m
迫間川	— 21,500m
上内田川	— 14,200m



### 天然記念物・チスジノリ

形が人間の血管に似ているところから名前がついた。全国的にも大変珍しい淡水藻類の一種で、菊池川の菊水町下津原菰田橋から上流に棲息。ただ、山鹿市の山鹿大橋から上流の分田橋一帯は、「菊池川のチスジノリ発生地」として、国の天然記念物に指定され、この区域での捕獲は禁止されている。